

サ サ ゴ イ

Butorides atriatus



種名	サ サ ゴ イ														
	Butorides atriatius														
															
分類	コウノトリ目 サギ科														
特徴	キュウと鋭い声で鳴く、翼が黒っぽいゴイサギによく似た鳥。世界中の温帯から熱帯で広く繁殖する。日本は夏鳥として普通に渡来し、本州から九州までの各地の平地で繁殖する。南西諸島には冬鳥として出現する。														
生活	主に川で生活し、池沼、水田、時には海岸でも見られることがある。開けた岸辺に、じっと立ち止まって待ち伏せ魚を見つけると縮めていた首をさっと伸ばして、尖ったくちばしで突き刺すか、もしくははさみとる。捕らえた魚はくわえ直して、頭から飲み込む。カエルや水棲昆虫も食べることがある。夕方から夜間にかけて行動するが、昼間も採餌を行う。他のサギ類と混合コロニーを作ることはない。巣は木の枝を粗雑に積み重ねた皿形で、産卵期は5～6月。														
声	繁殖地では「キュウ」とか「ガガガ」という声を出している。また、夕方と夜明け頃に採餌場へ通う時には、飛びながら「キョー」と1声ずつ鋭い声で鳴くことが多い。														
見分け方	体形はゴイサギによく似るが、翼の上面は全体に黒っぽい。幼鳥は、背は黒褐色で胸に縦斑がある。														
時期	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-		
その他	全長(L)52cm 翼開長(W)76cm														
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥															